京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

藤田院長の講演(三)

▲ペスト豫防心得▼

其次は三、物品購入の注意です品物を買ふのにも注意しなければなりません綿衣、衣類、毛皮なぞは絶對に買ふてはなりませぬ飲食は生にて食するものはありませぬ總て煮沸する故安全ですが蓋なき店頭の物品は買はざる樣に注意せられたいこれも多くは使用人下女等に任せずに自らせらるゝが必要です決して市街の往還にペストの毒は飛んで居るものではありませぬ其次は第三期の場合即ち第三期間一株內部宅內に病毒侵入の場合此の場合に置きましては氣を落付けて狼狽せぬことが肝腎です若しも疑似の餘り家人が近隣及親戚の方へ逃出すとか或は患者を他へ隱すとかして一時我家の交通遮斷を免れんとするもの從來往々ありまして會に病毒を散亂せしむるのみにてはなく不德義極まることで防疫上に至大の惡果を嫁するものでありますから法律の制裁を受くるようになります元來患者が未だ出來ずとするも死鼠の出でたる場合は火箸樣のものにて茶入の空罐の樣なものに入れ防疫部に送り其檢查を乞ひ萬一有菌鼠なる時は警察の力を借りて大々的消毒法を執行すべきであります次は

一、ペスト患者の鑑別

之れは技術者でなければ他の病人かペスト患者かは元より判別は付きませぬが兎に角流行時に於ける鼠蹊腺則ち股間、腋窩線即ち腋の下にぐり〱の出る處か頸の腺などに痛を覺へ熱發したる時杯は直に診察を乞はねばなりませぬ尤も醫師にても直に之はペストとは斷言しませぬ一應菌の檢查と申すことになります、けれども誰が見てもペスト患者は急劇に重体に陷るものでありまして患者自ら重体を感ずる樣子を顯し如何にも重病の樣に見へるものであります之等に深く注意すれば素人で鑑別をすることが出來ます夫故次の注意が大切になります

二、檢疫員の來る迄の患者の處置

三、家族及同居人の處置

此の二つであります此の二つは前にも述べましたる通り狼狽か大禁物です此の時は母の見に於けるか夫婦間の如き死生を共にするの決心ある者一二人の外は其患者の居られたる部屋にて入れ[illegible]して其他の家族とは全く離れたる部屋に隔離し檢疫官の指揮を受くることが肝要であります且つ肺ペストとて咳が出て苦む患者は其飛沫の傍人の口鼻より入りて感染するもの故其世話をするものは脱脂綿花を脱脂ガーゼに包で口鼻を掩ひ白布にて頭部を包み眼の處のみ出して浴衣にても消毒衣に代用し長靴を穿ちて足部より蚤などの侵入を禦ぎ手袋を穿ち其世話を了りたる後は之を消毒するか燒棄するなり斯くすれば決して感染するものではありませぬ病人には葡萄酒ブランデーの如きものを少々づゝ與へ氣を勵しつゝ醫士の來るを待つことが大切で御座ります夫れ以上は總て檢疫官の命に從ひて其通りせらるれば決して他に傳染する樣のことはありませぬ其他は森安博士の講演にて說明せられましたから時間も移りますから之にて失禮致します(完)

●碧蹄館保存方法

鮮人數名の發企によりて高陽郡の碧蹄館保存會と云ふを創立されたる赴きは過日の紙上に掲載し併せて其會規をも附記せしが今其具体的保存方法を聞くに保存費は是れを弘く日鮮人の寄附に仰ぐべく碧蹄館は多年の風雨に由り見る影もなく荒廢を極め四壁の粉飾剝落して館中一物なく只横額と一門あるのみなれば今にして是等を修覆繕し且つ館後丘上の掛甲樹と云ふも當時の紀念なれば右に外柵を施し加之周圍の地域を買收して紀念物を中心に小公園を造成し茶亭を建築して衆人の遊園地となすの計劃なるが何れ此方針に依りて設計し寄附を募集し其結果如何に付きては規模を伸縮する筈にて昨今發企者よりそれ〱日鮮人に委員囑托中なりと

外事一束

▲墨國● 革命軍再び勢を得事態頗る急なりとの報あり米國は中立保持の爲め桑港より騎兵三箇中隊を急行せしむ。

▲英國● 勞働黨大會は所屬議員が一定の契約を其本部と結ぶ可き黨則を廢止す是れ自由黨に降伏の爲と解せらる。

▲露國● 議會の國防委員會は海軍省の可決せる黒海艦隊の建造に對し其非違を論じ驚く可き彈劾案を起草せりと。

△佛國● 外相に對する彈劾運動盛なりしも外相は何等驚ける色を示さず平然として所信を公會に言明し居れり。

△伊國● チーブルにペスト發生せりとて人心恟々たりしが其後調査せる公報によれば未だ確實ならざるが如しと。

△獨國● 膠州灣總督トル大將の休職內定し政府は之を打消し居るも今年夏の歸國は則其爲めなりと一般に信ぜらる。

△波斯● 公使は巴里に於て言明して曰く獨逸は波斯の利權を損するが如き行動を爲さゞる十分の通知を得たりと。

△滿洲● のペストに就きタイムスは多大の同情を表し東蒙古の兎鼠に病毒傳播の危險あるを指摘して注意を促す。

△印度● 訪問の獨皇儲は大に民心を動かし到る處熱心懇篤なる歡迎を受け極めて滿足なる賛辭を示めし居れりと。

雜錄

◎斷髮 なにかし

森薤君は今度其の長髮を切るべく決心をしたので來る十二日築地の精養軒に斷髮式を行ふことゝし知友に招待狀を發した、其招待狀には三十年來愛蓄して體軀の一部を成し日夕形影相伴ひたるものと別るゝは今更ながら愛惜の情に堪へずと、マサカ其の動機が女優のチャンたるに餘りに無粹であると云ふからでもあるまい兎に角三十年來は大袈裟だ運途に相見てオヤ物好にも伴れがある哩と苦笑を禁じ得ざつた時を回顧して二十四五年と記臆する、此の芝居氣あり以て律子のチャンたるに愧ぢずか。

◎死 なにがし

默阿君が死んだ、生れてスグ死ぬものさへあれば死んでも惜しい歳ではなし疊の上で死んだのが贅澤な位だ、世間の人は知名の人が死ぬると思ひ掛けなかつた事の如に騒ぎ傳へる、何故だらう、阿る爲めだ、而して病食乞が行き倒れとなる、死ぬのが遲かつた如だ「此奴が、此方が樂だらう」と云ふ、何故だら何故でもない死ぬと云ふ事を知らんからだ、生と云ふことを知らんからだ、吾來自己肉体の死を適確に意識したものはないと云ふことを知つて貰ひたい、死ぬは樂だと思つて居る方は御遠慮に及ばんヅン〱れ先へ願ふ、此の意味から云ふと死を樂觀した側に居る、君の死は君の爲めにれ芽出度いのだ、

◎新刊紹介

▲大國民● 其內容は依然たるも趣味問題に向つて愈々全力を傾け來りつゝあるは其特色なり(發行所同社定價十錢)

△精神修養● 其二月號を見るに發行目的の範圍を脱出せる觀あるも讀んで趣味あるもの尠からず(同社發行十五錢)

△新世界● 僅かに一冊三錢五厘の安直雜誌其內容は言ふを待たず(同社發行)

山中鹿之助

七十五回 西尾麟慶演

東山の東福寺の住職なる兆殿司も此の事を傳へ聞きまして、此處に尋ね來り鹿之助に對面いたしまして、昔時の因縁話しをいたしました、然るに當方に潜伏いたし居りましたる、尼子家の家臣高橋渡之助、明家鹿之助杯が種々に姿を變へ中御門數之卿の館へ尋ね來りましたが、コゝデ時節を待て尼子家の再興をいたさんの考へ、天定つて人に勝つの時いよ〱愛熟しましたのは、茲に將軍義輝公の御妹君にはたらせられます白綾姫と申しますは、當年十六の春を迎へたまひ、實に天性ゆるせるところの美女で御座ひます、然るに此の頃はひ何んとなく春めいたるところの御心のつきました爲めに、何れへかの御縁邊を取り定めさせられやうと心配をいたして居りまする處へ茲に東福寺に茶の會が御座ひまして、大和畫をも陳列いたし、頗る盛會で御座ひまするに、是を御覧にならんと供奉のれ女中れて大勢れ連れ遊ばして御出に相成りまするのが白綾姫で御座ひます、此時に勝丸君は十五才の美少年にわたらせられ命の親の大恩人ではあり、かた〱東福寺へ參りまして頻りと今日のことに就きましても心配をいたしてれ手傳ひであつたので御座ひます、其の勝丸君を一と目御覧なされまするより、恐く御心を痛めたまひて、姫君には御鬱館の樣深く煩ひたまふといふ、只今は斯樣な舊癖はないが、昔時の姫樣なぞには戀病ひなぞといふ事が幾何も御座ひましたもので、蓄厚扁鵲も戀の病ひを治するの醫術なく、皆もつて心配で御座ひまする、是を乳人より御心のうちを頻りと伺ひまするといふと、東福寺に居られた何れかの公達にといふ御意で御座ひますから、段々搜索をして見ると、中御門數之卿の御緣類の若君であると云ふ事が判りまして、將軍義輝公の手を經て御身分をれ糺しの爲め數之卿へ御問合せが御座ひました、よつて數之卿より包みかくさず、尼子義久の嫡男勝丸なることを御返答に及ばれ、臣たる尼子九郎左衞門の爲めに家を奪はれしといふことを申し上げまたるによつて、將軍義輝公大ひに喜ばれて、ソコデ使者をもつて、我が妹を勝丸の妻に迎へ取りくれるやう、と數之卿へ申入れました、數之卿も二なく承諾いたされました。就ては無僞の者なるが故に、此の事を申し上げたる時、父は毛利へ捕虜はれの身と相成りなどはいへども、未だ藝州に其の身はあり九郎左衞門を亡ぼして事を平げなば、義久の命は將軍家より乞ふて貰ひうけやらんといふ、斯る有難き言葉があり、結納の取り替せが濟んで、一天萬乘の君にも奏聞なし、數之卿の御心配も届いて當年十五才の勝丸君、元服して從六位の上に任じたまひ、尼子四郎勝久と名づけたまふ、爰で京都がたより曰夫れ〱隣國へ人を出して、尼子の殘黨を相集め、密に攝州へ押寄せ上月城を乘り取らんと支度に及びました、夫れ尚書に曰く、天の惡むところ、天必ず是を誅す、宜なるかな尼子九郎左衞門は、今や殃ひ己れの頭上に落ちきたる事をも知らずして日々多勢の容貌よき婦人をあつめて淫酒に耽り、夜も亦徹夜の酒宴に家政みだれて細民の苦み一方ならず、此の擧に付け入り、旨く謀りおほして寺本生死之助一切の政事は已れが掌握いたし我に媚び諂ふやうに見せて、其の內情は密に中御門卿の屋敷へ對し、密事を明して勝丸君に音信をいたしました、圖らず返書を得て生死之助が、山中鹿之助が全快爲し、夫々舊臣も集るのみならず。勝丸君は四郎勝久と改名いたされ、從六位に叙せられ、將軍義輝公の妹白綾姫と婚姻いたされ、大ひなる味方を得たと云ふ事を聞き、然らば此の機逸すべからず、城內は密に吾儕計らひまするにより多勢を要せず屈竟の兵を摘んで小勢にて來らるべし、と申し入れました、爰で鹿之助を軍師となし勝久公を大將として、海陸兩道より發向に及ぶ、此の軍用金は一切は菊酒屋より御用に立てる、ソコデ用意充分に整ひまして愈進軍いたす事に相成りました

◉京城電報（七日）

移民と救助金

農商務省にては本年度移民に對し救助金五萬圓を下附する事に決定し居たるが今回十萬圓に増加する事に内定し目下大藏省と交渉中なるが近く追加豫算として本議會に提出せらるべし

豫算査定方針

政友會の豫算査定方針は司法省の豫算在監人費二十九萬圓及び司法省試驗委員費に多少の削減をなし文部省豫算より經費[illegible]新規事業費を削除するに決せり

辯護士會の決議

日本辯護士會は司法官憲が犯罪捜査の場合に際し[illegible]且つ刑の量定苛酷なる等[illegible]の建議を[illegible]決議せり

北里博士の渡滿

醫學博士北里柴三郎氏は拓殖局長江木翼氏[illegible]來る十二日東京出發滿洲ペスト視察の途に就く[illegible]朝鮮を經て歸京すべしと

錫總督後任

錫總督の後任としては廣州將軍增祺なるべしとの說あり

各種調査の委託

[illegible]

工場法案可決

昨日貴族院委員會にては工場法案を原案通り可決したり

山田式飛行器成功

山田式飛行器の試驗飛行は好結果[illegible]

清兵暴行事件

[illegible]朝鮮人を清國官憲が不法に拘禁したる事件は暴行清兵を處罰して落着したり

伯林電報

獨太子の旅程

獨逸皇太子殿下の旅程はコロンボより[illegible]

獨元帥の御世辭

伯林[illegible]

墺儲露帝訪問

維也納[illegible]墺太子フランツ、フェルヂナンド公は[illegible]露帝を訪問せらるべし[illegible]

◉紀元節拜賀式

併合後第一次紀元節を祝する爲め京城總督府に於ては左記の順序に依り拜賀式を舉行す

一午前九時　御眞影開扉
一同九時半　長官拜賀了て高等官奏任拜賀　判任官並屬員拜賀
一右了て勅任官以下一般人民の拜賀
一午前十一時より十一時半迄一般人民の拜賀
一午前十一時四十分閉扉（以上）

◉駐劄軍交代期

朝鮮駐劄軍第二師團（仙臺）は第五師團（廣島）と交代する事に決し四月上旬より交代開始すべしと

◉師團の副官會議

第二師團司令部にては來る十三日步兵第三旅團及第十五旅團の兩副官、步兵第四、第三十二、第二十九、第六十九の各聯隊副官、騎兵第二聯隊、野砲兵第二聯隊、工兵第二大隊及び第二師團司令部副官等列席軍隊事務に關し會議を開く筈なるべし

◉森林法案の脱稿

當局にて起草中なりし朝鮮の森林法は此程脱稿し目下上京中の寺内總督に回送せし總督も之を以て今後法制局を經て[illegible]の協議を經る筈なるが其發布は來る四月頃なるべく同時に之が實施を見るべく因みに其内容は濫伐盗伐等の取締を主眼とせらるゝものゝ如し

◉審案中の狩獵法

半島に於ける産業行政の一斑は漸次其緒に就き其成績の稍々見るべきものあれど翻て他の一斑を顧みれば街巷多閑の事項砂からずして現に狩獵法の如きは最も急施を要すべき事項の一なり則ち若し之を今日の儘に放任し置かんか貴重鳥獸の絶息を來し延いて農産物に對する慘害測るべからざるものあるを以て相當取締の途を講ぜざるべからざるは何人も認むる處たり今此等に就き農商工部當局者の意見を聞くに同部に於ても夙くに其必要を認め既に三年前より幾度か立案し察するに銃器に關する取締規則施行せられたる爲め是等との關係をも考慮するの必要生じ旁々現在審案中のものにて今尚未定の裡に在りと云へ而して審案中の該法は其内容をして餘り差異なきは無論内地現行法と大差なく則ち其原則を採り禁獵區期間保護鳥の種別に重なるべきも唯だ半島の現狀に鑑み幾分の參酌あるべき筈なり

◉ペスト襲來か

▽新患九名の内四名死す

八日午前二時五十五分黄海南川守備隊より明石警務總長に左の如き公電ありたり

▲第一報　八日午前二時五十五分南川警察地西方一里半沿岸に傳染病患者生じ四名死し他に六名の患者あり容態ペストと判斷せらる實地調査中

右の電報に接し明石警務總長は直に南川警察署長に左の如き電命を發せり

其の管内にペストに疑はしき傳染病發生すと聞く狀況詳しく報告せよ

該電命に接せる南川警察署長より本日午前十時左の如く報告ありたり

平山分遣所管内西上面邊岸に數名の熱性病患者あり内三四名死亡せしに付目下憲兵と協議取調中と、兎に角各自一層の注意警戒に勉むべきなり

◉應援隊の急派

南川に於ける防疫應援の爲め當本部より特に宮尾一等軍醫藤田警部は八日午前十時三浦中尉は憲兵同補助員三十餘名を新幕及瑞興の地に向け急派したり

◉貨物輸送停止

南川より別項の如き來電ありたるにより明石總長は南川警察署長へ左の電命を發せり

追て何分の命ある迄南川驛より他へ貨物の輸送を禁止すべし

◉總長邸の防疫會議

八日午前十時より明石警務總長は南川に流行病患者發生したるにより今後の豫防打合せの爲め中野警務官國友警視其の他を召集し防疫會議を開き正午十二時散會したり

●ペスト防疫通報

各地のペスト益々猖獗を極めつゝあるを以て明石警務總長は八日より管内各警察署長及京城龍山各警察署長並に關係各官廳へ防疫通報を發する事となりたり

仁川大疑獄に關して

本社が去る七日の紙上に於て逸早く報道せし仁川の大疑獄は近來の大事件として静からず世人の注目を惹け而して其眞相の一端は昨日發行の京城日報紙上に之を掲記されつゝあるが更に吾社は之が爲めに特に社員を同地に派し各方面を獵渉して其經過を糺だし事件の内容を究めしめたるに聞けば聞く程其範圍廣汎くて又犯罪の系統連絡として數ヶ年の永きに亘たれるを知り其事の容易ならざるを發見せり

▲事件の發端　抑々本事件の發生せるや一朝一夕の偶發的犯行に非ずして去りぬる四十年中戰後の不景氣の襲到る處に浸れ殊に仁川は其最も甚だしと稱され孰れも衰殆に瀕せる觀ありたりしが其際之が救濟策として加來顯原等の元老連主として或る問題を利用して當時の第一銀行同地支店を攻擊して殆んど脅迫的に金三十萬圓を借入れたり其際に於ける彼等一派の惡辣手段は今之を思ふも慄然たりし程酷烈を極めたるは强記なる讀者の能く知る處なるべし斯くて第一銀行支店を强ひ如上の巨額を融通せしめたる金は目的の救濟策に用ゐられずして遂に小人玉を抱いて罪を成すに到れるぞ憂たてし

▲金融組合設立　則ち此巨額の融通を享けたる加來顯原及其他の人々等は其黑き腹を蔽はん爲か仁川金融組合なるものを設け表面は巧みに公共事業の如く裝ひつゝありしが其内實を觀れば毫も目的の方法手段に供せずして其一派に於て擅ままに之を利用し所謂公共機關たるべき同組合は宛然魑魅魍魎の開き巣窟と化せり現に彼等の爲めに私せられつゝある證據は同組合の金庫は夙くに底を拂つて去り其巨額の行先きは悉く

▲埋立地及び料理店　等の家屋を擔保としある等頭に其一派の爲めに固定せられ居るに見ても知るべし

▲組合の現狀　同組合は彼等一派の私利機關に供されたる結果は一文も公共的目的に使用せられずして殆んど當初の期待は全部蹂躙し盡くされ了はりぬ而して彼等の横暴は啻に之に留まらずして彼の埋立地をも擅に擔保に提供し其金を以て私腹を營み遂に仁川をして名狀すべからざる暗黑面に導きたり然れば金融組合は其名徒らに存するも實質は夙くに喪失し今は唯だ形骸を留むるのみの悲況に在るは何人も知る處なり

▲埋立地と民團　同地に於ける埋立地は元來民團の權利に屬し漫りに彼等の私すべからざる性質のものなるに飽迄腹黑き人には自己等の權勢を振廻さし遂に該埋立地をも横領せんと企み民會にも諜らずして勝手に名義の書換を行ひ民會に對しては白々しくも事後承諾を求めたり當時の事は今日迄迂邪無邪の整理に葬り去られ居りしも彼の富田民長が責任を負ひ自殺を計るの余儀なき程に煩悶せしは之が爲めなりしなり

▲韓銀の迷惑　而して彼等一派の爲に脅かされ遂に三十萬圓の巨額を貸出せる第一銀行支店は其後韓國銀行創立の爲め一切の貸借關係を同行へ引繼ぎたりしが今日迄一文も回收する能はず又其利子さへも嘗て受入れし事なく偶々之を督促すれば名を公共的資金に藉り或ひは仁川の悲況を訴へ到底取留めたる回答を得ずして經過し居れり故に同行は本事件醸起の爲めに非常に憂慮し其成行如何に就て竊かに注意を拂ひつゝありといふが左もあるべし

▲取引所の裏面　元來仁川は或る少數の元老連常に跋扈跳梁を極め多數の實業家及市民等は空しく手を拱ねて其爲すまゝに任せ居るの有様にて此點に於て同地は恰かもタマニーの組織を見るが如かりし而して彼等一派の人々は益其毒爪を振ひ曩に米豆取引所を設立せしに一時の人氣を傳し非常の盛況を極めたるも昨年夏内部の蹉跌ありて休業數箇月に及びたりしが此間又々彼等一派は同取引所に多少の財産あるを覗ひ何人にも相談せずして加來の一派が之を横領したるの形跡ありたり

▲犯罪の數々　以上記述する如く今回の事件を發生せるは決して單純の問題に非ずして取引所内金融組合の關係埋立地の魂膽の暴狀等幾多伏在せる事實ある上に更に同地商業會議所にも隱秘の問題ありて其財産を縱まに處分し一味徒黨の私腹に供せし等の事件綜合し數へ來れば尙ほ其他にも多數の事實あるべきは之を逆睹するに難からず

▲或方面の注意　斯くの如く該事件は年所久しきに亘たり謂はゞ繼續的問題たるを以て曩に或る方面の人より懇々の注意を與へ直接間接に其整理を急ぐべく促がしたるも彼等の頑迷なる毫も之に耳を假さんともせず却つて倍々横暴を募り時勢の推移に頓着なかりしは自業自得の事といふべし

▲本事件と市民　本事件に對する仁川市民の意向如何かを見るに一時は非常に驚駭色を失したるも夙くに既に事情を詳悉せるより京城方面の人々が驚ける程にも驚かず寧ろ同市廓清の兆なりとし當局者の英斷に對し大に感謝の意を表し居れりと

▲波及の範圍　本檢事の開始されし際顯原修一郎氏は恰も不在なりしが檢事判事は同時に其家宅捜索を行ひ引續き同氏の拘引を見亦金融組合理事にして仁川商業會議所書記長たる秋谷籌夫氏竹田津三平氏等も豫審判事の召喚を受け嚴重なる取調を受けたり斯の如くなれば事件の範圍は如何なる點まで波及し行くべきかと其一派の人々は戰々恟々暫時も安んじ能はざるが如し而して其成行に就ては尙ほ幾多探知し得たる事實あるも目下豫審に屬するを以て詳細は他日に讓るべし兎に角近來の大事件にして其結果は同地の暗黑面に對し一大光明を與ゆべく看取せらる

◉紀元節と總督府

總督府にては來る十一日職員集合紀元の祝賀式を行ふべしと

◉大邱慈惠醫院增築

大邱慈惠醫院にては院務の擴張に伴ひ病室の缺闕を感ずるより十病室を新築すべく設計中の處今回之を總督府に引繼ぎ遲くも本年度三月頃までには是非竣功せしむる見込なりと

◉仁川の防疫講話

仁川驛にては七日午後七時同驛に停滯しある客車中に驛員一同を集め龍山同仁病院仁川出張所の尾上醫士ペストの尤も恐るべき事及び豫防に關し一場の講話をなせし由なりと

◉各團隊長の視察

第二師團に於て召集せる齋藤少將以下朝鮮駐剳各團隊長は會議終了後直ちに平壤鎭南浦義州方面の視察の爲め同地方に出張せるが來る十日頃一度歸龍し更に夫々任地に歸還する筈なり

◉大橋大尉の巡視

京城憲兵第一分隊長大橋大尉は揚州郡の一部及び楊平郡地方に於ける狀況視察の爲め八日出發の途に上れりと

●中村少將歸任

令孃死去の爲め鄕里京都に歸省されたる平壤步兵第三旅團長中村少將は兩三日中歸任の筈なりと

●陸軍紀念日と龍山

來る三月十日の陸軍紀念日に際しては龍山に於て一大祝賀會を開催すべき筈にて民團理事者は目下そろ〳〵準備中なり

●來年度豫算と調査會

京城民團來年度豫算は既報の如く目下各科主任をして調査編製せしめつゝあり來月末頃助役の手許まで提出の筈となり居れば其際は民長以下會計役に於て一應調査の末民團調査會を招集して是れに附議するの豫定にして這は單に參稽の爲めまでに過ぎざるが理事者は歳入に於て尤も愼重の態度を以て諸稅を整理し加之稅目の改善を行ふ方針なれば頗る完全に近かく且つ歳出入共本年度豫算より若干の削減を見るに到るならんと云ふ

●百三十支店長異動

百三十銀行當地出張所長伊藤慶太郎氏は近々仁川同支店へ榮轉し其後任は仁川支店長山本寅四郎氏來任す可しとの說あり多分事實となる可し

●秋本平壤府尹東上

秋本平壤府尹は往復三十日間の豫定を以て九日東京に向け出發すべしと云ふ

公人私人

▲伊藤慶太郎（百三十銀行鎭南浦支店長）七日歸鎭
▲島村鑑松（鎭南浦新聞社員）同上

▲仁川港の出入船舶▼

▲群山丸　九日大阪より入港
▲第二永田丸　同　門司より入港
▲晉州丸　同　大阪より入港
▲香椎丸　同　唐津へ向出港
▲隅田川丸　同　大連へ向出港
▲大有丸　同　大坂へ向出港

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　七日の分
乘車客　五五八　下車客　五五二
乘車賃金　一三一〇、五二

▲南大門驛荷扱高　七日の分
發送　一二一噸　到着　三三五噸
貨物賃金　四九二、四七

▲龍山驛乘降客　七日の分
乘車客　一六五　下車客　一五七
乘車賃金　二五九、三九

▲龍山驛荷扱高　七日の分
發送　一〇〇噸　到着　一九八噸
貨物賃金　四三三、四〇

相場電報

（明治町西村支店着電）

▲大阪株式（三月限）

銘柄		（前場）	（後場）
▲神戸電燈	寄	三八、〇〇	三九、五〇
	引	三八、八〇	三九、五〇
▲京坂電鐵	同	六[illegible]、三〇	六五、九〇
	同	六七、一〇	六五、〇〇
▲大坂紡績	同	六九、〇〇	六九、一〇
	同	六九、二〇	六九、〇〇
▲大坂電燈	同	一〇八、三〇	一〇八、三〇
	同	一〇八、三〇	一〇八、〇〇
▲東京株新	同	一一九、六〇	一一九、三〇
	同	一一九、六〇	一一九、五〇
▲大坂株式	同	一三三、一〇	一三三、〇〇
	同	一三三、九〇	一三三、八〇
▲同直取引	同	一三一、五〇	一三一、二〇
	同	一三一、二〇	一三二、三〇

▲大阪期米

●七日前場 二月止十五圓十錢 ▲三月止十五圓九十六錢 ▲四月止三十二錢 ▲後場 二月止十五圓四十三錢 ▲止不明 ▲三月寄十五圓[illegible] ▲止不明 ▲四月寄二十三錢 ▲止不明

●八日前場 二月寄十四圓九十八錢 ▲三月寄十五圓十八錢 ▲四月寄二十五錢

▲仁川米豆取引

●七日後場 當月出來不申 ▲三月寄十[illegible]八十二錢 ▲最高同上 ▲最低七十五錢 ▲止同上 ▲四月寄五十九錢 ▲最高同上 ▲最低[illegible]四十二錢 ▲止同上

●八日前場 當月出來不申 ▲三月寄[illegible] ▲最高七十五錢 ▲最低七十[illegible]錢 ▲止同上 ▲四月寄四十[illegible]錢 ▲最高[illegible] ▲最低三十九錢 ▲止四十四錢

▲京城手形交換高

月日	枚數	金高
二月八日	三五一	六五、八三六、八〇

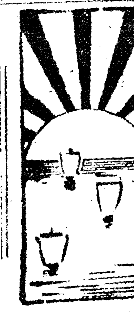
▲治外法權▼

ペストの襲來[illegible]

[illegible]

제622호 1911. 2. 9.

活動寫眞　裡面子



●七日夜の南大門驛

電燈煌々として夜色濃かなる停車場は森閑として淋しさが身に沁ひ、獨りベンチに凭つて眞夜の時を誦せば氣樽たき快なるものがある。茶々たる音をたてゝ釜山よりの列車は着いた。僅少の旅客は瞬間に吐き出された。大阪共益會社事務員田中

養三氏や、朝鮮人高義東等

●陸地測量部一行

東京陸地測量部一行の人も見へた。手荷物、機械等は山の如く、總督府測量局出の見れば、機械類であつた。次で車上に隊列されたは、成鏡北道羅南郵便局の

●村上親

が見えた。荷物は京城府竹添町二ノ五と記して遂出は、手荷物の包みであつた。

樺太大泊　齋藤源次郎

と云ふ人の持參品には、大小のトランクがある。齋藤氏は樺太と朝鮮、共に之れ新開の地、其間何か歴史的面白い、彼れであつた。樺太と朝鮮と、共に之れ新開の地。之れに來り、高樓の客となつて、世に聞くヤーマ金髪樹の比なる本體はと思へば、赤き電燈のみ更けつた。

●未知の旅客　幸

ならんやなと未知の旅客の

●道程を迄なかれと祈つた

千里の道程を

午後十時四十分、釜山行列車は、轟々と音も靜かに暗夜の郊外に進み去つた

●仁川猫島の夜　五日

の月は雲に隱れて天地は寂として眠つている。外に出歩くとブラブラ猫島の方へ行つた。先づ入口の南海樓前に至ると二階を見ば三四の客が婉と何にか面白相な話しをしてさも嬉し相である。次には藤の家此の樓は靜かで粹な相で二三の客があろう鶴の間に居る相だ。酌婦二人と相談に這入り小説を讀んで居たが、やがて大きな口をあいてアーア▲次の松山樓では爪彈きの音がして居る金助の糸だろうそして客

●茶漬　食ふ音がサク〳〵ボリボリ

は二人の娘子先づ親切なじみ筋か二て候。二葉亭猫島樓に寝た樣である金榮が敷いていた。本亭は客があつて奧座敷で夫婦らしい蓄樓は戸閉して入電りない。

●一人の客に酌婦と炬燵

樓は二人の客が酌婦と炬燵で居た。女へ電話が掛つて、出て來た体格の好い男が、何誰ですかと、何とか云ふ自稱色男かとの問いにお今度は先方の人が

●停車場の仲

だ少らんが今夜行きたいが都合が惡くて行かれぬと言ふて後は何やら解なし話して居たが女の方で切り升よ何れ御面會の時ヲヽヲヽ是れで終りたなんだつまらないと歸途に就いたすると暗闇から君々と呼ばれた誰かと思つて見たれば花房町派出所の森澤巡査であつた（其の一）

●人の懐を當に登樓

仁川花町二丁目料理店近樂亭事湊吉松方に七日午後五時頃二十五六の職人体の男が登樓し酒を命じ飲み初め午前四時迄飲み續け居るより樓主が一先勘定を請求せしに勘定四圓五十錢なるに一錢の持合せもなしとて無錢飲食の屆を以て警察出張所に取調ぶるに此の者は大阪府西成郡新町生れ當時仁川新町三丁目菓子商白石方の職工にて山本勇三郎（二三）と云ふ者にて同夜は友人なる者と同樓にて一杯を飲み約束をなして後より行く事として自分一人先きに登樓し飲み初め山田の來るを今や〳〵と待ち居たるも遂に同人の來らざりしより前述の次第と判然せしより右の金を持參する迄自分の着せし銘仙の羽織を預け置く事として落着せし説諭を加へ將來を戒めたり

●兒童就學注意

明治三十七年四月一日より翌三十八年四月一日間に於ける出生の兒童、來四月一日就學の必要ある該兒童の保護者は來る三月二十日迄に入學願に戸籍謄本を添へ民團役所に提出すべし七日古城民長より告示第十六號を以て管區内内に示達せり

●擊劍大會　來る十一日當地大和町一丁目平山牧場に於

●各署の鼠買上數　七日北部署四百七十一西大門分署四百東大門分署三百三十八南部署百三十四銅峴分署百十四水門洞分署九十六龍山憲兵分隊十八同警察署十匹なり

●石原技師の處刑　既報總督府休職技師石原錠太郎は重禁錮一年六ケ月に處せらる

●太い雇人夫婦　龍山兄弟井契六十九統十二戸李海忠妻宅の雇人李仲烈なるもの四日と五日の兩日に渡り膽太くも夫婦共謀の上主家の秘藏品左記の品々を窃取し他家に預け置けるを主人の告訴に依り同警察署に拘引の上目下取調中なり

金時計一個金鎖一連、純銀匙一個、同箸一組、蒲團四枚、屏風一双、價格總額四百餘圓

●分別男の無分別　原籍福島縣糸島郡今宿村士族當時龍山京町二七番戸朝鮮鐵道保線事務所龍山保線區事務所雇門羅六郎（四五）は三日午前十一時頃鐵道保線事務所龍山保線區事務所內に於て暖爐の傍らに置きありし鐵棒を以て京城古市町一七〇番戸高木濟太郎を毆打して左頰上部に二ケ處の創傷を負はせ憲兵分隊に訴へられ取調を受

●公判●　愛媛縣東宇和島郡士居村當時新町三丁目二十五番戸中本萬一（三五）は李壽蓮なる者が李神數會なるものを組織せるを聞知し之を利用し不正の利益を獲得せん事を企て李壽蓮を籠絡し流布從事中金在深なる者これを信じ該教會の支部を開城に設立運動を依賴した事より主任として雇入れる可き旨欺罔し金五十圓を騙取し又昨年二月初旬李壽蓮所有の朴薬源金基弘名義の家劵二枚を擔保に李壽蓮の爲め京城大和町二丁目八番戸重象貞助より金七百圓を借用する際金基弘の印章を僞造し同人より重象貞助に對する典當契約證明其の他必要書類を僞造行使せし故を以て八日京城地方裁判所刑事部法廷に於て塚原裁判長兩角檢事の係りにて公判開廷せられ被告辯護人として木尾辯護士出頭被告は犯罪事實を否認したり

●騷擾罪　島根縣簸川郡國富村當時龍山櫻座道具方玉木庫太郎（三二）が暴動不審として長野岸兩刑事に南部署に引致され浮浪罪に因り拘留處分にされしが事は既報の如くなるが餘罪ある見込

●粉泥棒　仁川京町一丁目麵類商山口喜八方雇鮮人某は先月廿五日頃同店の賣掛代金二圓を着服費消し當時喜入より其不都合を責め懇々説諭されたるより其後は眞面目に勤め居たりしが七日午後八時頃又も家人の隙を窺ひメリケン粉一袋を持出さんとせし處を主人に見付られ派出所へ説諭願に同行せしを以て嚴しく加説し將來を戒め放還

●ワン●　仁川花町二丁目龜井貞造の飼犬は通行人を見ると吠へ付くより矢野獸醫の診察を受けしめたるに狂犬にはあらざるも堅く繋留し置く樣注意せり

れのれベストめ……

●仁川捕鼠買上數　八日は百二十九頭にて三圓八十一錢累計三千百五十五頭懸賞開始より通計千八百十五頭なりと

▲久しく打絶ね申候花柳界のうわさ一つ二つ申上候▲例の議員選擧當時より引き續き當選祝、落選燒祝等にて好景氣の模樣に候▲食道樂女將の經營せる絶鶴樓は或る名目の下に勉强する爲め繁昌致し居候▲妓寶のナップンを改革致さゞれば存候▲同樓高千穗は福名題る酒落てるも生れつきの化やしき爲めに裏を返す客なき由に候▲大桝屋の貞子は容貌餘り感心せざるも二枚目の御蔭で本町五丁目の顯はん氏に愛せられ居候▲一子は水道局高閣の智さんの音信りなきとて煩悶致し居候▲笹浪は馴染客の一人其筋に拘引され動機自分の爲めなりと聞き氣取り流行の氣の毒心を起し差し入れを某氏に賴み、無罪にならねば刑の執行猶豫の恩典な

●浪花館のぞ記（下）

扨ていよ〳〵「眞」の越之助讀語物は「酒屋」年輩も好し體格も好し、だうしても眞打の實目あり、但し此讀若手どは受取れず、又花形とはいひ惡くけれど若手連統率の御大將なれば抑て若手連を引立たすのに此方よろしかるべし踊物披露の口上に曰く、越之助儀近頃風邪にて聲を傷め居りますれば聞苦しき廉は云々」とありしも流石老練の然らしむるところ「オクリ」から大切まで大抵の所は抜かずに語り終り、折々咳の爲めに語り苦しうさな所も見ゆれど、別に聽き苦しい感じも與へず、いかにも節細かに、且つ奇麗にやつてのけたり、此語物は誰でも人の知りて居る丈け「アヽ」の發見るものなるに、「サワリ」はいはずもがな、番讃の一條等十分に涙を催さしめたり、又引語りで鈕も不足なし、正に京城三界の寄席には惜しき程なり（ヲット失敬京城を悪く見くびつて）大切は「彌次郎兵衛喜多八東京出立の段」東海道中膝栗毛の序ともいふべく、滑稽に滿ちたもの

を、高助娘を初め若手花形一同での總掛合、所作は總て演劇掛りで衣服から何から男物を用ひ、太鼓拍子木を入れての大陽氣、見物一同の臍の皮を寄らしめたり、一座の御勉强多とするに餘りあるべく、寒氣を辭せず一夜は步を運ぶの價値あるは、先に反對を稱へし細君連より、歸途は「大に面白かつた」の言葉を聞きしに徴して僞ならざるべく我の提灯持ならぬを避し得べきが、我等の行きし節、四五人の若手連語り居りしところなれば、之が評は追て物すべく、兎も角何れも若手花形なるは、惣掛合に拜顏して能く之を知れり、サア評判チャ〳〵（もの字投）

●演藝だより

●京城座●　每夜大入の御禮の爲め觀客へ漏れなく土産として割引劵を配布

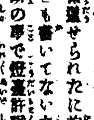
▲仁川で發行する朝鮮新聞は平生報道の迅速を誇つて居られる然るに加來、桑野等の拘引を云ふ大事件をば貴社及び京日子には報道せられたに拘はらず「ウン」とも「スン」とも書いてない之れを稽ふるに餘り近所の事で燈臺許暗しの格でがな御座らう併し吾々愛讀者は甚だ之れを遺憾とする（仁川佳人）▲四日は皆さん御承知の節分で仁川花柳界も例の如く頗る滑稽な若い婆さんや年老つた娘が出來た僕が目によら下がつたのは八坂で桃太郎の元祿娘、八重山の田舍娘、寐日の令孃、光子の猫手婆、苦勞、千代田の元祿若衆、一富士で富美子の幇妓、久子の僧侶、勇助の相樸取り何れも滑稽鮮でチョコマン雛子の丸髷は殊に目立つた柴亭丸八の女學生に其他同亭の柴丸淺岡の君枝、桝菊、桝子、梅子等は皆丸髷であつた▲同夜僕が竹園館の落語を聞きに行たときれかめ、階子段の上り口で何れの奧さんか知らぬが仁川には餘り見かけぬ上品な奧さんに逢つたが土地慣れぬ僕にはどうしても分らなかつた落語が終りて歸りに下足を取る時先刻の奧さんをよく〳〵横目で見たれば淺岡の君枝であつた三日の晩入坂で逢つた君枝とは全く別人の樣に上品で美しく見た定めて彼の人が見たらば御滿足の事と羨しかつたそれで歸りは二人連れで丸萬へ寄つて間もなく出て來て仲町のメツジスト教會の先きの土藏のある家へ這入つた迄は見屆けた時に十二時十分前であつた（實見生）▲是れも同夜の事である敷島の黑門を這入ると敷島樓の表二階の障子に一人の男が裸体にて猿又を取る樣子があり〳〵と映つて居た向側の朝日樓は頗る非常な賑ひでトンチャン〳〵の大騷ぎ小松の部屋からは乙な爪弾の音が洩れていた（岡燒生）▲仁川京町料理店一二三亭へ四日夜二時頃三人の客が登樓した何れもホロ醉機嫌で話の樣子では敷島朝日樓で何にか齟齬つた事があつて同樓から此所に來た模樣である三時頃迄飲んで居たがいよ〳〵勘ケ原となつて玉代の交渉となり酒代一

圓六十錢と女四人の玉代四圓にて纏約が出來た三人の客に四人の女そこで一人の客が二人を左右にして寢に就くと云ふ處で樣に黑幕（立聞生）雛名丈けは預り申す（仁川小僧）▲私儀法律勉强致し度候間夜間御教授被下る御方何卒本欄を借り御住所御教へ被下度亦昨年御方只今の御住所御存知の方は何卒本欄へ御知せを願ふ（初學生）▲南大門通り水產市場出張所は晩になると化物屋敷同樣だ看板が在つて無燈で戸締がない其上臭い事鼻が落ちる樣だ實に惡ろしいそれに本店は裏通で無燈が澤山付てゐる其化物屋敷の〇〇の醜行取締御存じありませんか（衛生子）

●浪花館　引續き好人氣なる大阪女義太夫越之助一座九日の語り物は御祝儀寶入舟（入舟）れ駒才三鈴が森（濟助）日吉丸三段目（越濱）梅川忠兵衛新口村（若大）菅原四段目（土佐濱）阿波鳴戸八ツ目（源八）三勝半七酒屋の段（高助）玉藻前三段目（富十才越子）忠臣藏四段目（越之助）忠臣藏七ツ目茶屋場（掛合）

「あじさい」今七轉十一場にしてつゝある同座九日の藝題は左の如し山瀨警部（岩村）近藤平五郎（松澤）村瀨しん（堀江）鳥州義雄（藤澤）瞳子（塚本）料人黑川（小泉）羽根田寅松（吉井）れ代（江見）

▲平民文書▼



二月九日舊正月十一日二黑●庚戌大安成△一白見込違ひ●さき日●賣買貸借婚姻尤も注意の事△人の世話保證を避くべし△二黑●中裁保證盡力裏書施恩に拘はる勿れ酒色盗難遺失を戒しむ●起業開店旅行婚談見合せの事△三碧●新事賣買貸借婚姻徒勞に歸し易し酒色の害を戒しむ△四綠●金品授受貸借故障起らん新事旅行婚談見合せらるべし△五黃●家族從者の事案あり他は平和●日投機的射倖的行爲には見込無し△六白●不和離間衛生負傷注意の事●必の日大抵吉△七赤●盛運の日●望みは利得便宜あり婚談屆入れ子孫の事ぐるに尤も佳△八白●婚談共同事に吉他は抑へ目の事△九紫●商相談委囑仕官就職入學門に妙又上進んで利あり負傷衛生注意の事

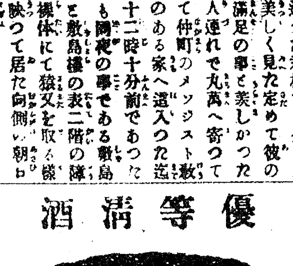
廣告

京城居留民團告示第十七號
來ル二月十一日京畿道ニ於テ紀元節拜賀式擧行相成候ニ付一般人民ハ同日午前十時ヨリ同十一時半迄ノ間ニ隨意參拜スルヘシ
明治四十四年二月八日
京城居留民團民長　古城菅堂

今般小生儀朝鮮孤兒院長めにより京城日鮮音樂團を組織致し候に付大勉强を以て位の御用相勤め可申候間何卒御引立の程偏に奉希上候
京城本町七丁目（深堀寫眞館所）
京城日鮮音樂團
主任　深堀久雄
取次電話一八二五

▲病室落成
▲入院隨時▼
時間　每日午前八時ヨリ正午迄（每日曜及大祭日休）月水金午後四時ヨリ六時迄
京城　旭町壹丁目六十七番戸（電話六九二番）
一般外科診療
鈴木外科醫院
前大韓醫院外科主任　鈴木謙之助
六百六號注射の需に應ず
ワッセルマン氏梅毒有無の診斷法を施す

優等清酒



釀造發賣元
仁川港
吉金酒店
電話七六四番

牛乳の大王
平山牧場
京城大和町一丁目
電話一三三番

陸軍三等軍醫　中谷内喜雅
敍從附
陸軍一等主計　北條□吉
臨時朝鮮派遣步兵第一聯隊附敍從
東京第一衛戍病院附兼第一師團軍醫部々員陸軍三等藥劑正
同　同　正尉　李秉規
同　同　副領　權泰瑜
同　同　同　康弼祐
李王職公附武官敍仰附

北東の風曇後晴

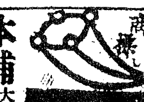
●諸公債諸株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候兼業
(質屋營業 鑑札 官衙御用達)
京城本町二丁目 大坂野村德七代理店 田中友吉商店
電話九三九 振替東京(一)

小兒かんむしの良藥
○ひかん○むしけ○ちゝあましゝ○ひきつけ○ねあせ○ちばなれ○かべつちをかむ○かほてあし つりなごに大効あり
價五錢●十錢●二十錢●五十錢
本舖 大阪堂島蜆橋 高橋盛大堂藥局
全國到る所の藥店に販賣す
代理店 京城本町五丁目 木下大盛堂 同南大門通三丁目 新井藥房

健胃固腸丸
くだり一切の特効藥
主治 ●赤痢病●コレラ病●腸胃加答兒等に用ひて奏効迅速なり ●常に貯へ置き朝夕兩三粒宛服用せば腸胃の藥物を治し食物の消化を助くす
藥價 貳十粒入五錢 四十五粒入拾錢 百粒入貳十錢 三百粒入五十錢 七百粒入壹圓
本劑は全國到る所の賣藥店に取次販賣せり 本劑には偽物ありて類似の名稱を用ゆる向あり御購求の節は商標と谷回春堂とを御注意あれ
本舖 大阪市東區伏見町 堺筋角 谷回春堂 (電話東四五八番)(振替貯金番號八三〇)
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番◉千六十八番 振替口座京城十六番

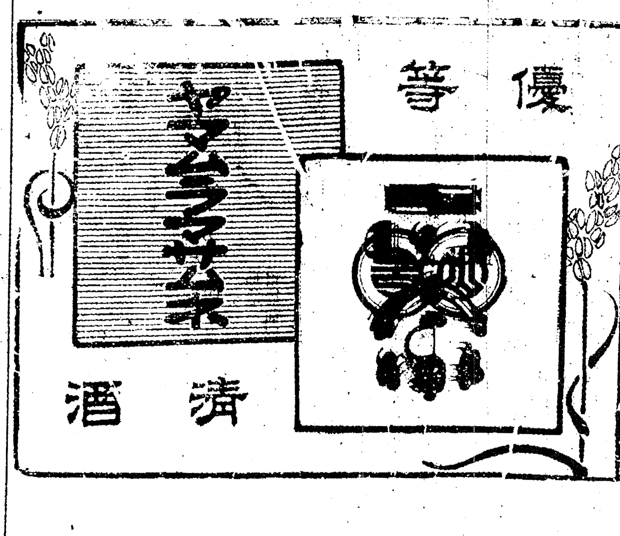
◉貸金 旭町二ノ一五別府 組車根據前向小路 高橋
有給者にて極秘密に低利融通可申候

入院隨意
內科 外科 小兒病 梅毒淋病
京城壽町三丁目 高井醫院 電話(二一六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治



きん熱おありマラリヤ熱風ねつの良劑
商標
キナエン丸
一包入五錢 五包入十錢 十一包入廿錢 十六包入卅錢 廿八包入五十錢
本舖 大阪四ツ橋西南詰南 本林丁子堂
キナエン丸は全國到る處の藥店に取次有御求の節は丁子の商標に御注意を乞ふ
代理店 京城南大門通三丁目電話九〇四番一〇六八番振替口座京城十六番 新井藥房

世界一のかぜ藥
全國藥店にあり
蛇印 アンチピリン丸
かぜ・づつう りうまちすに大効あり
藥價 五錢・十錢・十五錢・廿五錢
發賣 大阪心齋橋三丁目 丹平商會
本舖 東京日本橋區通油町 丹平商會
代理店 京城 新井藥房 電話九〇四番、一〇六八番 振替口座京城十六番



エールリヒ氏新藥
新梅毒注射藥
右新劑サルバルサン到着本日より隨時注射治療致候(入院隨意)
一月十一日
京城南山町二丁目 松岡醫院 電話六七五番

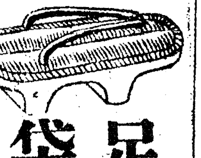
酒精アルコール
直輸入元 仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電界十) 坂倉支店

寫眞撮影の時季來れり
寫眞器械 幻燈器械 藥品材料一切 旅行用娛樂用營業用
直輸入
京城本町四丁目 織居寫眞機部
電話二六二 振替貯金一二三二一

文房具 和洋紙 測量器械
シノザキ本店
京城本町一丁目郵便局前
並買次營業中候
電話六四八番 振替朝鮮一五四番

齒科治療
本町六丁目(蕎そば横町)
ドクトル 中村安子
女子見習募集委細面談
(電話一五八三)

朝鮮牛種及牛乳改良元祖
消毒 純良 高等 牛乳
當場飼畜の乳牛は悉くエーアシヤ、ゼルシ、ホルスタイーンの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり
當場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし
京城南大門外 荒井牧場(電話一〇五六番)
當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候
當場には御進物用牛乳切手發賣致候其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候
龍山本町三丁目 龍山販賣所(電話二〇二番)



東京足袋
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

韓國銀行
當銀行は金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所
大阪、仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州、
爲替取引先
日本 東京、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、松山、廣島、長崎、
朝鮮 公州、光州、晉州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州、成興、
淸國 大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、漢口、上海、
其他外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

◎遠きは郵信近きは即時!!
曩に會員五百六十餘名の贊助を得豫想外の稱賛を博せる本會は客年十一月を以て會員所定の提供を了へたるを以て好評嘖々再度開催方を促されしも時歲稍に屬し百事匇忙延ひて今日に至れり茲に年頭其筋の認可を得流行を逐ふて提供種目を一新し再第二回會員を募集せんとす若夫方法の輕便なると品質價格の正廉とは江湖既に定評あれば更に喋々するを要せざるべし
幸に本會を利用して調度の便を得んと欲せらるゝの士女は規定書に據り陸續御入會あらんことを
明治四十四年一月
月賦提供 京城時計興振會

◎此機を逸せず加入せられよ!!
一、本會は最も簡易なる月賦法を以て時計其他を會員に提供するを以て目的とす
二、募集期間は本年一月に始まり二月十五日を以て〆切とす
三、第一回抽籤は二月十九日(第三日曜日)午後一時を以て京城明治町淨土宗開敎院に開催すべし
四、提供品の種類は金銀時計各種蓄音器自轉車寫眞機金銀鎖金指環金縁眼鏡等とし一に會員の指定に任す
五、會員の定數は五百名とし募集區域は朝鮮一圓とす
六、期限中と雖も滿員の節は御申込を謝絶す
七、提供品は各取扱店頭に陳列し大方の御覽に供すると共に會名を記したる一定の赤織を軒頭に樹つ
八、讓會の際には抽籤に依り一等三越與服券(四十圓)を始め種々の大景品を呈し會員に進呈す
但し一本も空籤なし
九、方法及內容等は詳細載せて規定書にあり左記取扱店へ申込まるれば即時呈すべし(送料郵券二錢を要す)

取扱店(イロハ順)
京城本町六丁目 市川時計店 電話一一〇五番
同本町二丁目 織居自轉車部 電話四八〇
同鐘路通一丁目 加藤時計店
龍山榮町 川添天光堂
京城永樂町三丁目 川合時計店
同本町四丁目 中村時計店
水原城內 藥田時計店
龍山榮町 福富時計店
京城本町一丁目 小林時計店 電話壹壹七番
同明治町一丁目 寺島時計店
同鐘路通一丁目 赤帽子時計店 電話九八七
同本町一丁目 金化堂時計店 電話一三一八番
同本町五丁目 三浦天龍堂 電話一〇二番
龍山本町 盬谷天眞堂 電話五六二番
京城本町一丁目 平井勳資堂

取次店
京城本町四丁目 織居商會 電話二六二番
平壤南門通 同支店 電話二三番
仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七〇五番
京城本町二丁目 同支店 電話一〇一五番
同本町二丁目 赤帽子商會 電話一一三一番

思給年金へ便利なる立替
諸公債諸株券賣買 確實取引月一步五厘
京城中部壽進坊格思洞卅九統七戶 鐘路通り東洋生命保險裏丁稱奈屋
上州屋支店 電話九百五番

茲齋流割烹
すゞ津祢
南山町二丁目 電話千五百二番

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主 醫學得業士 中島貞信

純良消毒牛乳
京城東四軒町 岡野牧場 電話千六十九番

土地建物鑛山株券賣買
小林藤商店
貸家管理の囑托を受く
一百町餘の果樹園適地買入たし
田、畓、山、金鑛、黑鉛鑛買たし
商品其他擔保に貸金す
市外田畓山林未墾地賣
出賣物あり
市內家宅賣物數多あり
京城明治町三丁目 電話六五五番

二月中出帆廣告
キ
濟州行 天草丸 十日、十四日、十八日、廿二日、廿八日、
安泰丸 八日、十二日、十六日、二十日、二十四日、廿八日
鎭南浦富里浦屯串行 三省丸 八日、十日、十二日、十四日、十八日、二十日、廿四日、廿六日
千歲丸 二日、十日、十二日、十八日、廿日、廿四日、廿六日、廿八日
成歡丸 十四日、十六日、廿月、廿二日
喬桐島行 廿八日
千葉丸 成歡丸 十四日、十六日 九日、廿一日
三省丸 十九日、二十七日
合資會社 仁川本町四丁目 秋田商會船舶部